

精密工学会賞 第8回 (2012年度)

受賞者業績紹介

受賞者： 竹内 芳美 氏

竹内芳美氏は、一貫して工作機械および生産加工システムの研究に取り組み、特に、多軸制御切削加工や超精密マイクロ切削加工およびそのCAMシステムに関する研究や開発において、常に先駆的な仕事を手がけてきた。同氏はこれらの研究領域を確立した数少ない源流の一人であり、驚くべき先見性により多軸制御工作機械や超精密工作機械の普及に多大な貢献を果たした。最近では、複合加工とそのCAMシステムに関する研究を開始し、それを発展させた巧妙加工を提唱するなど、現在もなお精力的に研究を継続している。これらの業績により、精密工学会の他、日本機械学会や多くの財団から多数の論文賞、技術賞、功績賞等を受賞している。さらに、Precision Engineering ならびに International Journal of Automation Technology の Editor-in-Chief として、また複数の国際会議の組織委員長として、国際的な学術研究の普及に努めている。日本学術会議では創成加工工学専門委員会委員長、精密工学会では、副会長、関西支部長、理事など、多くの要職を歴任し、現在もフェローとして本学会の活動と発展に貢献している。以上のように、竹内芳美氏は生産加工ならびに生産システム分野だけでなく、精密工学に関わる多くの分野の工学的および工業的な発展に貢献しており、その功績は極めて大きい。

1976年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（工学博士）

1978年 九州工業大学工学部助教授

1988年 電気通信大学電気通信学部教授

2002年 大阪大学大学院工学研究科教授

2011年 中部大学工学部教授、大阪大学名誉教授

精密工学会フェロー（2008年度）